SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK
世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
https://www.otagaisama.or.jp/
2021.5 No.205

# セタガヤ ボランティア ネットワーク

今月のトピック

特 集●

## 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」が大切にすることは？

**まちの市民力！ ● 地域サロン オアシス**
**キラリ世田谷人！● 森 郁子さん**

イラストレーション● 浅川 七緒美
プレーパークで、遊びまくって 25 年、まだまだ遊びたいお年頃☆

**●わたしの世田谷**
大好きなんだ
歌っちゃう明け方の世田谷通り
根っこを大切にとことん話し合える仲間たち
やっほーって言えるあの店
自分を大切にできるこの町が。

●特集

# 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」が大切にすることは？

2020年10月1日に施行された「認知症とともに生きる希望条例」はマスコミにも大きくとりあげられましたが、認知症についてのこれまでの認識とは180度違う、画期的な視点が盛り込まれたものです。何よりも認知症を「誰もがこれから経験する可能性のある、自分ごと」と考えていきたい、ということが基本となっています。条例を検討し制定するにあたり大切にしたことを、認知症施策評価委員会と条例検討委員会の委員長を務められた、国際医療福祉大学大学院教授の大熊由紀子（おおくまゆきこ）さんに伺いながら、自分たちの課題としていきたいと思います。

## 条例が大切に考える視点

条例の前文にはこう書かれています。『今日、認知症に対する見方が大きく変わってきています。認知症になると「何もわからなくなってしまう」という考え方が一般的でしたが、認知症になってからも、暮らしていく上で全くの記憶を失うわけではなく、本人の意思や感情は豊かに備わっていることが明らかになってきており、尊厳と希望を持って「自分らしく生きる」ことが可能です。世田谷区は、自分らしく地域でともに生きていくことができる環境を整え、区に住んできた人を含め、子どもから大人までの全ての区民が、現在及び将来にわたって認知症とともに生きる意識を高め、その備えをし、「一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまち、せたがや」を目指して、この条例を制定します。』

そのような考え方の上に立って作られた条例は次のような視点が大切にされています。

①いままでの認知症の考え方を変える

②みんながこの先の「そなえ」をする。

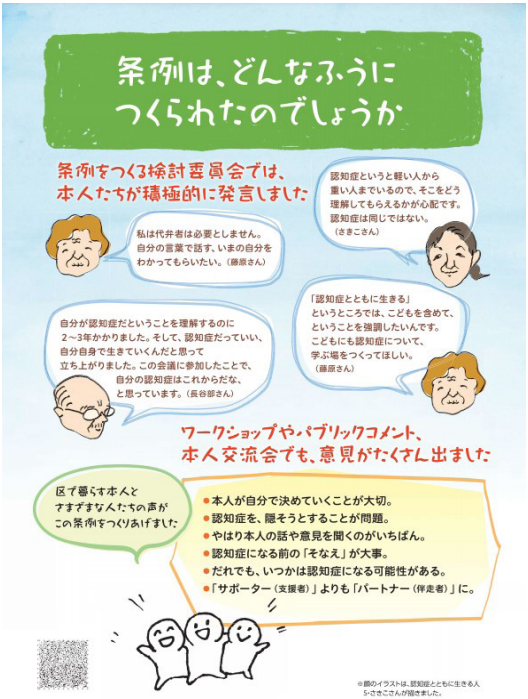
③ひとりひとりが希望を大切にしあい、ともに暮らすパートナーとして支えあう。

④認知症とともに今を生きる本人の希望と、あたりまえに暮らせること（権利・人権）をいちばん大切に。

認知症に限らず、私たちの暮らす社会全体にとても大切と思われる視点は、生きることへの希望を与えてくれるものです。どんなふうに条例つくりが行われたのか、大熊由紀子さんにインタビューしてみました。

## 認知症とともに生きる本人が加わってできた条例には「希望」が！

**大熊**　認知症の人が線路に入り鉄道事故に会った時、普通に考えればその人は被害者なのに、ＪＲ東海は家族に約７２０万円の損害賠償を請求しました。家族が訴訟を起こして最高裁まで行き、家族に賠償義務はないことにされたのですが、今度は保険会社がそこにつけこみ、認知症の人が事故に巻き込まれたときの保険をつくって宣伝し、その保険料の肩代わりをするのが親切な自治体ということになり、そういう条例が次々つくられました。




出典：世田谷区認知症とともに生きる希望条例
パンフレット（令和３年１月発行）

２０１８年に世田谷区でも議員の提案でそのような条例をつくることになり、認知症施策に経験のない、区の意向に逆らわない方が検討会委員に選ばれて、２回の委員会が行われ、形ばかりのワークショップが開かれました。そこに参加していた中澤まゆみさんたちが、「このままだととんでもないことになる」と評価委員会メンバーに訴えました。そして保坂区長の決断で、認知症施策に経験と識見のある６人のサムライ（学識経験者３名、臨床医２名、地域団体活動代表１名）が３回目から委員会に加わり、仕切り直しとなり前例を超えた世田谷独自の条例づくりが始まりました。「希望」という心にかかわるような単語は条例にはふさわしくないと区の担当者は反対したのですが、実はその名称は４回目から委員会に加わった当事者３人が希望されたことなのです。「希望があるんだと伝えたかった」とおっしゃっているのです。当事者の方々は最初はしゃべれなかったのですが、他の委員が真剣に耳を傾けてくれるので、話し出すと止まらないくらいになって。委員たちがつくったパ

■大熊さんのインタビューは、
文頭「大熊」、文末「ー」の箇所になります。

ンフレットには、本人たちの積極的な発言がそのまま書かれています。「予防よりはそなえ」、「サポーター（支援者）よりも「パートナー」（伴走者）」としたこともこれまでにないことでしたね。

委員の一人である永田久美子さんは、『一足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ～認知症とともに生きる希望宣言』を社会に発信する支援をした方です。条例はこの宣言から多くを学びました。条例施行から半年経ち、条例を元にして今は「希望計画」をもとに条例に魂を入れる段階に入りました。―

大熊由紀子さん

## 認知症の意識を変革し、文化を変えていこう！

希望計画には、こう書かれています。『この計画は、「一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまち、せたがや」を目指して、希望条例を着実に実現していくために、区としての中長期の構想のもと、認知症施策を総合的に推進していくことを目的としています』

**大熊**　この計画は全文『ですます』で書かれています。そして全体に「文化を変える」ということを言っています。認知症を経験している人びととともに条文をつくるというのも新しい行政文化です。「希望」という文字を入れたのは、体験に基づく思いからです。「可哀相だから」と助けてくれるサポーターでなく、共に歩き支え合う「パートナー」を選んだのも３人の本人の判断でした。「予防」より「備え」という新しい考え方も盛り込み、「住み慣れた地域の中で自分らしく、共に生きていく」ための計画になっています。」

条例を作ったらおしまい、ではなく、世田谷の中で認知症の意識をみんなが変えるところまでいかないと、成功したとはいえません。地域で希望を語り合っていこう、ということなので、時間はかかりますが、時間をかけて地域を変えていく文化をつくりましょう。―

## 認知症は自分ごとだから

認知症予備軍であるすべての区民にとってできることはたくさんあるようです。

**大熊**　本人が発信・参画し、地域を作っていくとか、希望ファイルをグループでつくったり、互いに連携しながらアクション・チーム（自らアクションを起こす、という意味が込められています）を作っていく中に、いろいろな人たちにぜひ参加してほしいんで

す。区報だけでなく、口コミ、まちづくりグループ、町会に呼びかけたりして募集します。資格も不要、誰でも参加できます。この条例がきっかけになって世の中も変わる、文化が変わるということ。自分や自分の家族のことを考えると、これは自分ごとだ、というのがこの条例の一番大事なところです。『認知症で世田谷を変えよう。みんなで参加しよう！』というふうに行きたいですね。―

まさに『参加と協働』を言葉の上だけでなく、具体的なテーマになるのがこの条例なのですね。大熊さんのモットーは「前例を超える、前例を創る」。まさに、条例はその具現化。専門職として、ジャーナリストとして、15回の連続講座を大学院でゲストをとともに行うプログラムがもう始まっていますが、その第1回目に「前例を超える」というタイトルで、まちの中で普通に生活するデンマークのノーマライゼーション法や究極の自立支援法オーフス方式など、当事者が原点の海外の改革を紹介しました。

**大熊**　どんなにハンディがあっても街の中でふつうに暮らす『権利』がある。社会はその権利を実現する『責任』があるというのがノーマライゼーションの原点です。共生というふわっとした言葉はあまり好きではありません。自分の家があって普通の生活をし、出かけて家族や恋人をもち、余暇を楽しむという「本人中心」が世界の潮流です。―

## ボランティア協会も参加、そしてアクション！

世田谷ボランティア協会福祉部門に勤務している和田敏子さんも、この検討委員会でアドバイザーを務めました。ボランティア協会ができること、私たち一人ひとりにできることについて、こんなふうに話してくださいました。

「ご存じの方もいると思いますが、昨年より世田谷ボランティア協会福祉事業部では新規事業として『パートナーセンター』が立ち上がっています。これは若年認知症、高次脳機能障害当事者等、障害当事者が中心となって活動する事業です。今回の条例つくりにはこの事業を背景に参加しました。当事者の方々と、「希望条例」にパブリックコメントを提出し、報告会にも参加したのです。時代は確実に変わっています。アクションチームにぜひ私たちも参加する予定です。」

世田谷が、日本の中で当事者が参加しアクションを起こす当たり前の世界の潮の流れに合流できる先駆けとなれるよう、この条例が大きなきっかけとなればと願います。

（取材／編集委員　星野　弥生）

■「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」　検索

どなたでもでもどうぞ

# 地域サロン『オアシス』

## まちの市民力!!

取材・事務局

●

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します

駒沢公園通り沿い、大きな松の木と瓦屋根が目印です。NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ（以下、ウェーブ）が新たな地域サロン『オアシス』を昨年夏にオープンしました。今回、スタッフのみなさんにお話を伺いました。

オアシスの場所、もともとはお寿司屋さんでした。きっかけは、寿司屋のご主人がご逝去された際に、ご家族の「地域のために役立てる場所にしたい」という思いを受けて19年9月頃、ウェーブに打診があったことがはじまりです。ただ、その後新型コロナの影響もあり、オープンまで少し時間がかかりましたが、20年7月1日に無事オープンしました。

現在オアシスでは、月曜から木曜の昼と夜に食事の提供をされています。メニューは、火曜はカレー、水曜はちらし寿司、それ以外の曜日はお楽しみ定食です。十分なボリュームでお値段は1食500円。どなたでもご利用いただけます。また、毎月第1、第3水曜の夜には、1人親家庭のお子さんを対象とした子ども食堂を開いていて、子ども100円、大人300円で提供されています。緊急事態宣言をきっかけにお弁当にして欲しいという要望があり、お弁当での提供もされています。そのほか、刺し子など地域デイの活動も行われています。

ウェーブの活動の始まりは、食の支援であり、大切に取り組まれてきました。取材中も子ども食堂のお弁当を取りに来られる方や、夕食を食べに来られる方がちらほら。ただ取りに来る、食べに来るだけでなく、スタッフとお話されている様子が印象的でした。「ここに来て、愚痴をこぼしてくれたり悩んでいることがあれば一緒に考えられたら」とスタッフの方はおっしゃいます。

コロナ禍のオープンから半年が過ぎた今、まだまだ試行錯誤の日々であり、目下の課題はもっといろんな方にこの場所を知ってもらうこと。この場所を使ってみたいというアイデアも募集中とのこと！　これからオアシスが地域の方々と一緒にどのように発展されていくのか楽しみです。気軽にお立ち寄りください。

■地域サロン『オアシス』　世田谷区駒沢 2-21-7
電話　070-5457-7781　P9 ボランティア募集中

NPO 法人きづくをたちあげた

森　郁子さん（もり　いくこ）

# せたがや キラリ人

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します

取材●星野　弥生

「こども」のことに関わる郁子さんのきっかけは子どもの時に培われたようです。自主保育「駒沢おひさま会」の一期生で、あるきんぐクラブの川場村の長ーいキャンプに参加した子ども時代。テレビでトットちゃんのユニセフ親善大使としての報告を観て、子どもの兵士のことを知り「なにかできることは？　ユニセフで働きたい」と思うようになりました。

都立高校を出てからアメリカの大学に４年間、発達心理学を専攻、その間に、９・11のアメリカ同時多発テロ事件も経験しました。子どもに関わる仕事をするからには育った国の方がいいと考え、世田谷チャイルドラインの研修も受けました。その後イギリスの大学院では国際児童福祉を学び、修論も子どもの虐待の問題がテーマでした。「日本の子どもの現状は大変なので、制度や予防に関わる仕事がしたい」と思い、国際ＮＧＯへ。ここで担当したのが「ポジティブ・ディシプリン（ＰＤＥＰ）」。子どもの権利を尊重し、教え、行動を導く子育てをする親子関係を考え直すためのプログラムと言えます。

自主保育やプレーパークで育った郁子さんの経験は、子どもを管理するのではなく、子どもが持っているものをありのまま受け入れて対話する、という考え方にぴったり重なるものでした。「手を出してたたかないでも、対話できるでしょう？」と問いかける、親や養育者に向けた子どもとの関係づくりのプログラムは36カ国で実施されています。

２０１１年の３・11の後、３月から７月まで宮城の避難所に遊び場を作り、世田谷からのボランティアをそこへ派遣したり、福島の子どもの保養キャンプを飛び回れたのも「あるきんぐで鍛えられたから」と郁子さん。

ＮＧＯを離れた２０１９年５月に仲間と立ち上げたＮＰＯ法人「きづく」では、ＰＤＥＰの普及を引き継いでおり、そのためのファシリテーター養成、子どもの権利の研修やワークショップの実施、また世田谷でも子ども支援のＮＰＯの事務局に関わるなど、忙しい毎日を過ごしています。「チャイルドラインは1つの原点！」と語る郁子さんによる古巣のチャイルドラインでの「きづき」の講座も夏に予定されています。周りの大人たちに育てられた郁子さん、世田谷でもたくさんの出番がありそうです。

■ NPO 法人きづくホームページ
https://www.kidzuku.org/

# ご相談ください

## 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウィルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、お電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL　5712-5101

## 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアをお探しして紹介しています。

現在は、新型コロナウィルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター　担当　高居・青木
TEL　5712-5101
takai@otagaisama.or.jp

# ボランティア求む

## 小 小学生の男の子の下校付き添いをしてくださる方募集

船橋5丁目に住む小学6年生の男の子が都立光明学園から自宅に帰る下校の時、16時前に学校に迎えに行き、自宅までの付き添いをしてくれる方を募集します。下校には、スクールバスまたはタクシーを利用します。帰宅後に時間があるときは、30分程度ジグソーパズルなどで一緒に遊んでいただけるとうれしいです。

男の子は気管切開をしているため発語が難しく、主に手話とドロップトーク（スマホのアプリ）を使ってお話します。とても元気な男の子で、これからたくさんの方と関わりながら、コミュニケーションの方法などを学んでいきたいと思っています。

●日時／火・木曜日、16時前に学校を出発、終了は17時ごろ
●場所／都立光明学園から自宅
●交通／梅ヶ丘駅徒歩3分
●条件／子どもと遊ぶのが好きな方。障害があるお子さんのサポートに関心がある方。交通費応相談
●問合せ／代田ボランティアビューロー　担当　池田
TEL　3419-4545
daitabora@otagaisama.or.jp

## 小 京 犬のお散歩ボランティア募集

飼い主が体調を悪くしたため、お散歩大好きな10歳の犬（パピオン）が、毎日していたお散歩ができなくて困っています。毎日夕方30分くらいのお散歩をしていただける方、お待ちしています。雨の日もお散歩したいです。複数人でのサポートを検討しています。詳細はお問い合わせください。

●日時／毎日15時頃～30分くらい
●場所／千歳台・粕谷周辺
●交通／バス「千歳台6丁目」から数分
●問合せ／砧ボランティアビューロー準備室　担当　久我
TEL　6411-4007
kinutabora@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は4月17日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

# OTAGAISAMA VIEW

## 有償スタッフ募集

### 東 小1児童の学校生活全般をサポートしてくださる方募集

用賀駅周辺の小学校に4月から通う新小学1年生の男の子が、学校生活全般でサポートを必要としています。男の子は、脊髄性筋萎縮症により電動車椅子で生活しており、体は不自由ですが文字を書くことや食事は自分でできます。

お願いしたいサポートは、主に学校内での移動時に車椅子介助、給食時の見守り、トイレの介助、授業中の見守りの予定ですが、入学後必要に応じてお願いするサポートが増えることも考えられます。

男の子は明るくとても社交的な性格で、小学校生活を楽しみにしています。詳しくはお問合せください。

●日時／水曜日、金曜日の登校してから下校まで（土曜は月1回程度）　週1回から
●場所／用賀駅周辺の小学校
●条件／謝礼有、交通費支給、学校生活サポーターに要登録
●問合せ／世田谷区教育委員会事務局教育相談・特別支援教育課
担当　髙橋
TEL　5432-2747

### 小京 障害者通所施設有償スタッフ募集

東北沢つどいの家は、下北沢から少し歩いた閑静な住宅街に立地し「特定非営利活動法人つどい」が運営する生活介護支援事業所です。外出が困難な方や、何かしらのハンデを抱えて生活をしている重度の身体障害者を対象に、社会参加と日常生活の機能向上のための訓練・指導を行っています。

1日の平均利用者は7名程度。現在、一人ひとりに深く寄り添ったサポートを共に行うスタッフを募集しております。詳細は採用担当までご連絡お待ちしております。

●場所／東北沢つどいの家（世田谷区北沢4-24-22）
●交通／小田急線・京王井の頭線下北沢駅徒歩12分
●問合せ／東北沢つどいの家
担当　橘
TEL　3465-1832
enzhouse@ybb.ne.jp
https://tsudoi.tokyo/higashikitazawa

### 東 1日店長、募集！

NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ（オアシス）では世田谷区駒沢の元お寿司屋さんの居抜き店舗にて地域サロン運営をしております。空いている時間を有効活用していきたいと考えています。1日店長としてお店をやってみませんか。詳細などお気軽にお問い合わせください。

●日時／金曜日～日曜日
●場所／オアシス（世田谷区駒沢2-21-7）
●交通／駒沢大学駅徒歩10分
●問合せ／NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ
担当　一宮
070-5457-7781
wave@ngo-npo.org
http://www.ngo-npo.org/wave/

### 東 食事作りをして下さる方募集

昨年7月より駒沢のお寿司屋さんの居抜き店舗にて地域サロンの活動をしています。手作りのランチ、お弁当作りに協力して頂ける方を募集しております。無償ボランティアさんの募集ですがご希望の方には食事を代金半額で提供しております。お気軽にお声掛けください。よろしくお願いします。

●日時／月～木　10時～12時頃
●場所／オアシス（世田谷区駒沢2-21-7）
●交通／駒沢大学駅徒歩10分
●条件／不定期でも月1回でも可
●問合せ／NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ
担当　一宮
070-5457-7781
wave@ngo-npo.org
http://www.ngo-npo.org/wave/

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

京 京王線沿線
小 小田急線沿線
世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

# 有償スタッフ募集

## 小 京 東 ひとり親家庭のサポートをしてくださる方募集

世田谷区内のひとり親家庭にお伺いし、子ども（保育園～小学生）の遊び相手、宿題等の見守り、夕食づくりなどをしてくださる方を探しています。親御さんが多忙や不調で余裕がなかったり、お子さん自身がサポートを必要としているご家庭で、お子さん・親御さんともに安心して楽しく過ごせるよう、力を貸していただけたら幸いです。学生さんからシニアの方まで大歓迎です！

日時や内容はご家庭によって異なるため、詳しくはお気軽にお問い合わせください。

※「世田谷区養育支援等ヘルパー訪問事業」の委託を受けて実施しています。新型コロナウイルス感染拡大防止について、区の方針に基づいて活動を行っています。

●日時／月～金曜日、17時～21時（2～3時間程度。ご家庭ごとで異なります。週1日程度～）
●場所／世田谷区内のご家庭
●交通／小田急線・京王線・田園都市線・東横線など
●条件／有償、交通費支給、研修あり
●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 水野
TEL 5727-2133
http://www.jcsw.jp/

# 講座・その他・募集

## 東 バザー提供品 受け取り一時休止のご案内

いつもバザー品のご提供にご協力いただき、ありがとうございます。現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、バザーを休止しております。そのため、バザーの物品提供の受付（持ち込み及び宅急便などの郵送）を当面の間、休止とさせていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。

※次回のバザーの開催は未定です。再開が決まり次第お知らせいたします。

●問合せ／世田谷ボランティア協会
TEL 5712-5101

## 東 傾聴ボランティア講座（全5回）

この傾聴ボランティア講座は、個人の方と対面で継続的に行う傾聴ボランティア活動のための講座です。話すこと・聴くことを体験学習（ワークやロールプレイなど）を通して、グループで考え、感じながら学んでいきます。あなたも、傾聴ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか？

●日時／6月9日～7月7日（毎週水曜日）13時半～16時半
●場所／玉川ボランティアビューロー
●交通／二子玉川駅徒歩3分
●参加費／8000円
●条件／全回参加できる方。講座修了後、傾聴ボランティア活動を始められる方
●申込み／お電話かHPから
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707-3528
tamabora@otagaisama.or.jp

## 小 子育て家庭・不登校に寄り添う訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（虐待、不登校、いじめ、非行など）や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対策を講じたうえで、開催させていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

●日時／5月15日（土）13時半～17時
●場所／喜多見地区会館（世田谷区喜多見8-23-23）
●交通／喜多見駅徒歩3分
●参加費／一般1000円 学生500円
●申込み／お電話かHPから
●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 水野
TEL 5727-2133
http://www.jcsw.jp/

上記掲載記事は4月17日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## 東 オンライン無料講座「ヒューマンライブラリー入門」

ヒューマンライブラリー（HL）は、障がい者、LGBTQ、難病、依存症、難民など偏見や誤解を受けやすい人が「本」（語り手）になり、数人の読者（聞き手）に人生話を自己開示するイベントです。相互理解を深め偏見を提言するイベントとして世界中各地で実践されています。

どんなイベントか、詳しく知りたい方、ボランティア参加してみたい方、開催してみたい方、本の役をしてみたい方などを対象に入門講座を開催します。内容はHLとは何か、その仕組み、偏見の低減効果、実際の事例紹介などです。実際にボランティア参加してみたい方への情報提供もします。詳細、申込みはお問い合わせください。

●日時／5月8日（土）13時～14時半
●場所／オンライン（ZOOM）
●参加費／無料
●募集人数／15人まで
●条件／世田谷区内関係者優先
●問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会　担当　坪井
090-4751-6942
tsuboi912@gmail.com
http://tokyo-humanlibrary.com

## 小 もっと語ろう不登校 Part 256

これまで28年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／5月8日（土）14時～
●場所／NPOフリースクール僕んち（代田4-32-17）またはZOOM会議にて
●交通／梅ヶ丘駅徒歩10分
●条件／事前申し込み制
●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当　高橋
090-3905-8124
fsbttoru@yahoo.co.jp

## せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い
## 子どもをささえる活動をささえてください

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修をうけたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動をささえるために、寄付のご協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。
●口座番号／00150-8-279963
●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会
※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなります。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●内容／1冊1000円（税込）。お支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）
●注文方法／郵送ご希望の方は、「お名前・送付先ご住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。
●問合せ／せたがやチャイルドライン
TEL　5712-5101
childline@otagaisama.or.jp

## 世田谷ボランティア協会の活動●支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

■世田谷ボランティアセンター　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL（5712）5101　FAX（3410）3811
■梅丘ボランティアビューロー　〒154－0022 梅丘1－8－9　TEL（3420）2520　FAX（3706）2854
■代田ボランティアビューロー　〒155－0033 代田2－20－6　TEL（3419）4545　FAX（3412）3210
■玉川ボランティアビューロー　〒158－0094 玉川2－1－15　TEL（3707）3528　FAX（3708）3058
■砧ボランティアビューロー準備室　〒157－0066 成城6－3－10　TEL（6411）4007　FAX（6411）5888

### ●いのちを大切にするところ「ふらっと」＆「with」です●

■ケアセンター「ふらっと」　〒154－0002 下馬2－20－14　TEL（5712）5105 FAX（3410）
■ケアセンター「ｗｉｔｈ」　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝﾆ軒茶屋 1F　TEL（6805）4715 FAX（6805）4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

■ケア相談センター結（ゆい）　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝﾆ軒茶屋 2F　TEL（5433）2830 FAX（6383）2156
■ケアステーション連（れん）　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝﾆ軒茶屋 2F　TEL（6805）4716 FAX（6805）4718

### ●障がいにともなう「困った！」を話せるところ●

■地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや　〒154－0002 下馬3－22－13ｻｻﾞﾝﾆ軒茶屋 2F　TEL（6804）0405

### ●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

■せたがやチャイルドライン　こどもせんようでんわ　TEL（3412）4747　0120-99-7777（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）
＊事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ！

### ◆センター＆ビューローより

新型コロナウイルス感染症予防対策により、世田谷ボランティアセンターの閉館時間や、会議室利用ルールなど、状況に応じて見直しています。詳しくは、ホームページでご確認ください。

### ◆ふらっと＆ with より

桜は目線が上になり遠くから見る方がきれいです。紫陽花は目線が下になり近くで見るときれいです。子どもや車椅子ユーザーにも優しい花が楽しめる時期ですね。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

### ◆チャイルドラインより

ボランティアセンターで、八女の物産品を販売しています。売り上げの一部はチャイルドラインの活動のために寄付されます。

**編集後記**

■初めて取材と記事を書かせていただきました。これから世田谷区の様々な団体や素敵な方々とお会いできるのを楽しみにしております。（た）
■通常であれば５月は新緑の清々しい季節なのに、すでに夏前のような暑さ…ボランティアで屋外屋内問わず活動する時には、こまめな水分補給をしっかりしましょう。
■最近、８Ｋの動画作成にハマっています。４Ｋよりもさらに綺麗でびっくりします（こ）

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154－0002
世田谷区下馬2－20－14
TEL　03･5712･5101
FAX　03･3410･3811
●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
https://www.otagaisama.or.jp/
●発行人
横山　康博